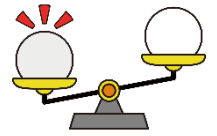




ネガティブに使わないで!



“比較”の使い方!

周りに比べて、何でうちの子には出来ないの? 思うこともありますよね。我が子だからこそ気になってしまうものです…。

“比較”のマイナス効果は…!?

比較してしまう気持ちは、子どものためを思っていることよりも、保護者自身が負けたくない気持ちもあるのかもしれませんが。幼少期の保護者と子の関わりは、子どもが大人になってから影響を及ぼすことも…。保護者が他の子と比較して、子どもに“出来ないこと”を伝えると、子どもは“自分はダメな子なんだ”とマイナスな感情を持ちます。



“比較”の上手な使い方!

どうしても周りが気になってしまうなら、去年と今年の姿、3ヶ月前と今の姿など、子ども自身の成長に目を向けて見ませんか?

出来ないことをどうしたら出来るようになるかな? と考える場面や良いところをさらに伸ばすために比較をする、それは素敵なことです!

「落ち着きがない」ではなく、「活発」
「消極的」ではなく「慎重」など、
見方を変えることも大切です。



どうか、自分の子どもを良い意味で比較しながら、
自分の子どもだからこそ信じてみてくださいね!